

ベナン月例報告（2013年2月）

1. 内政

- ・ 5日、ヤイ大統領は、ベナン商工会議所の評議員選挙において数名の実業家が裏工作を行ったとして選挙準備の進捗に遅れが出ている件に関し、ベド（Mme. Akuavi Marie-Elise Christina GBEDO）産業・商業・中小企業大臣が商工会議所に対し、事態の收拾を図るよう指示した。
- ・ 14日、ヤイ大統領は、マリア・グレータ火力発電所を視察し、1月に爆発を起こしたタービン1基以外は、正常に作動していることを確認した。
- ・ 14日、不動産登記関連法案が国民議会で可決された。ベナンでは、不動産の二重売買、外国人による不動産の大規模買い占めが問題となっており、同法によりこれらの問題が解決されることが期待されている。
- ・ 15日、行政組織改正法案が国民議会で可決され、新たに1530村が誕生した。これにより、ベナンの町村数は5106村になった。
- ・ 19日、ラギューン母子病院（HOMEL）にて、フンサ病院長（Mme. Prudencia Hounkponou HOUNSA）の不適切かつ不透明な運営に反対して、病院従業員がストライキを開始した。
- ・ 23日、ヤイ政権に対するクーデターを企てたとして、タロン氏と近い関係にあるとされているゾマホン（M. Pamphile ZOMAHOUN）大佐（前コトヌ憲兵所長）及びタロン氏の従兄弟にあたる公認会計士、ダニヨン（M. johannes DAGNON）氏が逮捕された。

2. 外政

- ・ 5日から8日、ヤイ大統領は仏を訪問した。オーランド大統領、ゼラ（M. Dov ZERAH）仏開発庁長官、ファビウス（M. Laurent FABIOUS）外相等多数の政財界の要人と会談し、二国間協力強化、マリ情勢、綿花生産をはじめとするベナン経済等について議論した。
- ・ 6日、ベナンはMISMAに対し新たに65人の兵士を派兵した。
- ・ 11日、ヤイ大統領はローマ法王の退位に際し、感謝の意を表した。
- ・ 22日、ヤイ大統領は、赤道ギニアで開催されたアフリカ・南米協力フォーラムに出席した。同フォーラムでは、同地域間の貿易促進、及び投資の強化等が議論された。
- ・ 塚原駐ベナン日本大使が、ドスウ（M. Ribert Dossou）憲法裁判所長官、及びバトコ（M. Ousmane BATOKO）最高裁長官等複数の政府要人を表敬した。

3. 経済

- ・ 3日、ヤイ大統領は、コトヌ港を訪問し、2012年度に生産された綿花輸出に際し、船積みの状況を視察をした。
- ・ 3日、フランスの国際輸送業を中心としたコングロマリット、Groupe Bolloré のベナン支社長が、ボア (M. Bernard de Buor) 氏から、ブルキナファソ人のディアキテ (M. Seydou DIAKITE) 氏に交替した。
- ・ 1日、ナイジェリアの石油関連企業、SAPETRO 社のダンジュマ (M. Daisy Ehanire DANJUMA) 副社長がヤイ大統領と会談し、同社がベナンの石油鉱区ブロック 1 から 7 までの掘削を行う旨合意した。
- ・ 12日、ヤイ大統領は、オランダの地質工学コンサルティング FUGRO グループの コラ (M. Alessandro COLLA) 代表と会談し、ベナンの地下鉱物をスキヤニング探査することで合意した。

4. 開発・協力

- ・ 1日、塚原駐ベナン日本大使は、日本が草の根無償資金協力により建設したソアバ (Sô-Ava) の小学校引渡し式に出席した。
- ・ 4日、ベナンの地方分権促進のため地方政府の人材育成を行う目的で、UNDP、ベルギー食料安全基金 (Fonds Belge de Securite Alimentaire) が 46 億 FCFA の供与を決定した。
- ・ 5日、ベナン・米開発パートナーシップ協定が改定され、米より 160 億 FCAF がベナンに財政支援されることになった。
- ・ 12日、ECOWAS 開発投資銀行は、ボイコン (Bohicon)、ウィダ (Ouidah) 等ベナンの複数の都市で道路整備、及び浄水工事を行う目的で 45 億 FCFA をベナン政府に供与することを決定した。
- ・ 13日、ヤイ大統領は、パフ (Pahou) - ウィダ間、ウィダーヒラコジ (Hillacodji) 間の道路整備工事の竣工式に出席した。かかる工事には、アビジャン・ラゴス回廊整備事業の枠組みで、アフリカ開発銀行より 520 億 FCFA が供与された。
- ・ 18日、ベナン労働組合連合 (CSTB : Confédération des syndicats des travailleurs du Benin) が ILO の支援でワークショップを開催し、ベナンにおける児童労働を改善するための方策が議論された。ベナンでは 3 人に 1 人の児童が労働に従事しているとされている。
- ・ 19日、コティ (M. Lambert KOTY) 公共事業・運輸大臣が、現在中国企業により整備が進められているンダリ (N' dali) - ニッキ (Nikki) - チカンドウ (Chikandou) - ナイジェリア国境間の道路整備工事を視察し、工事が 90% 完了していることを確認した。

5. 社会

- ・ 1日、ウィニ（Ouïni）市のガンバン（Gangban）村で発生した火事により、250戸が焼失し、被害は数千人に及んだ。
- ・ 4日、ベナン経済・財務省の総務局から2億 FCFA が盗まれた。
- ・ 6日、ナティティンゴ（Natitingou）警察は、ナイジェリアに16人の児童を輸送しようとしていた男4人を逮捕した。

6. 治安

- ・ 5日、ポルトノボ（Porto-Novo）で、警察と住民の間で衝突が生じ、1名のバイクタクシー運転手が警官に警棒で殴られ、病院に搬送された。
- ・ 22日、仏外務省はベナンに関する渡航情報 HP に、ベナンにおいてテロ発生の可能性がある旨の内容を掲載し、警戒レベルを引き上げた。これに対し、23日、ベナン外務・アフリカ統合・仏語圏・在外ベナン人省及び内務・公安・宗務省はその内容を否定した。